

# きみつ 市議会 だより

Kimitsu City Assenbly News

No. 120  
第1回定例会

2015.5.1  
発行

## 主な内容

3月定例会のあらまし	2
代表質問Q&A	4
個人質問Q&A	6
委員会の焦点	8
先進地レポート	9
予算審査特別委員会	10
きみつズームアップ	12

発行／君津市議会  
編集／きみつ市議会だより編集委員会



ピック アップ  
Pick Up!

## 感謝の気持ちを込めて 議場コンサート

写真は、平成27年第1回定例会最終日の本会議休憩中に行われた、きみつ少年少女合唱団による議場コンサートの様子です。

結成15周年を迎えた同団は、小学生から高校生まで60人の団員が国内では被災地訪問や、国外ではオーストリア ウィーンでのコンサートも成功させるなど、本市の子ども文化のけん引者として積極的に活動しています。今回は、これまでの本市や本市議会の支援に対する感謝の気持ちを伝えるため、議場で素敵な歌声を披露してくれました。



君津市  
マスコットキャラクター  
きみびん

# 指定ゴミ袋制度の改正に関し、修正可決 単純従量制への移行を延期

3月定例会は、2月23日から3月25日までの31日間の会期で開かれ、定例会冒頭、市長から平成27年度の施政方針演説がありました。

今定例会では、市長提出の総額284億円に上る平成27年度一般会計予算をはじめとする49議案及び委員会提出の1議案が慎重審議され、48議案が可決、指定ごみ袋制度の改正に関する1議案は、市民生活への影響を考慮し、施行日を平成28年4月1日に延期するとして修正可決されました。

一般質問では、各会派の代表質問と個人質問が行われ、代表質問では関連質問を含め5会派9人が、個人質問では4人が登壇し、新年度の市政運営等について、活発な議論が展開されました。

## ＊ 本 会 議 討 論 ＊

### 反 対

- 議案第9号及び第10号 所得制限は新たな負担を家族等に強いる。
- 議案第11号 要支援1、2を介護保険給付から排除するなど各種サービスも現状で推移すれば軒並み後退が危惧され、容認できない。
- 議案第14号 市民に何も周知せず上程した議案は、審査に値しない。
- 議案第32号 経営改革を名目に市民サービスを後退させる。
- 議案第33号 学校給食共同調理場統廃合計画は市民や保護者に説明責任が果たされていない。

### 賛 成

- 議案第34号 資格証等を交付している。
- 議案第37号 保険料は上がるがサービス水準は上がらないなど市民に新たな負担を強いる。
- 議案第38号 年齢で医療内容を差別している。
- 議案第9号及び第10号 第9号については所得制限を設けることは、理解する。第10号については、従来よりも手厚い助成を行い評価する。300円の自己負担についても理解できる。
- 議案第11号 将来にわたり持続可能な介護保険制度の確立のため、理解する。

### 人事案件に同意

副市長  
石井 清孝 (59)  
市原市八幡

教育長  
山口 喜弘 (60)  
千葉市緑区おゆみ野

教育委員会委員  
伊澤 貞夫 (64)  
君津市宮下

固定資産評価委員  
伊藤 修一 (60)  
君津市宿原

- 議案第14号 原案では周知期間が少ない。より周知期間を確保できるように施行日を平成28年4月1日に延期する修正案に賛成。
- 議案第32号 減収が見込まれる中、地方交付税の獲得に努めている。また、的確な予算が配分されている。
- 議案第33号 給食費の徴収率向上、保護者負担の公平性の確保に努めたものと理解する。また、新共同調理場に関しては、熟慮を重ねた結果の凍結であると考える。
- 議案第34号 被保険者間における負担の公平性を確保するためである。
- 議案第37号 将来にわたり持続可能な介護保険制度確立のための措置と理解する。
- 議案第38号 国民皆保険制度を将来にわたり存続させていくため、制度は必要不可欠。

### 定例会日誌

2月16日	議会全員協議会 議会運営委員会
18日	学校給食共同調理場建設調査特別委員会
19日	君津活性化対策特別委員会
23日	議会全員協議会 議会運営委員会 第1回定例会〔本会議〕
3月2日	開会・会期の決定 市長の施政方針 議案の上程(提案理由説明、補足説明) 議案の一部採決 議会運営委員会 〔本会議〕
6日	追加議案の上程(提案理由説明) 〔本会議〕
9日	一般質問(代表3人) 議会だより編集委員会 〔本会議〕
10日	一般質問(代表2人・個人1人) 〔本会議〕
12日	一般質問(個人3人) 議案に対する質疑、委員会付託 〔本会議〕
13日	予算審査特別委員会
16日	総務常任委員会
18日	文教民生常任委員会 建設経済常任委員会 議会全員協議会
19日	予算審査特別委員会
20日	予算審査特別委員会
25日	予算審査特別委員会 〔本会議〕
	委員報告(質疑・討論・採決) 議会運営委員会 追加議案の上程(提案理由説明、補足説明、質疑、委員会付託省略、討論、採決) 閉会 議会全員協議会

# 議案等の審議結果



議案番号	件名	本会議の審議結果
<b>◆市長提出議案</b>		
議案第 1号	君津市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 2号	君津市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 3号	君津市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 4号	君津市個人情報保護条例及び君津市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 5号	君津市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 6号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 7号	一般職の職員の特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 8号	君津市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 9号	君津市精神障害者医療費給付条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(賛成多数)
議案第 10号	君津市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(賛成多数)
議案第 11号	君津市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(賛成多数)
議案第 12号	君津市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 13号	君津市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 14号	君津市廃棄物の適正処理及び再利用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	修正(賛成多数)
議案第 15号	君津市企業誘致条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 16号	君津市居宅サービス事業手数料徴収条例及び君津市地域生活支援事業手数料徴収条例を廃止する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 17号	君津市自然休養村管理センターの指定管理者の指定について	原案可決(全会一致)
議案第 18号	君津市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定の取消しについて	原案可決(全会一致)
議案第 19号	市道路線の認定について	原案可決(全会一致)
議案第 20号	市道路線の認定について	原案可決(全会一致)
議案第 21号	市道路線の認定について	原案可決(全会一致)
議案第 22号	市道路線の認定について	原案可決(全会一致)
議案第 23号	市道路線の認定について	原案可決(全会一致)
議案第 24号	市道路線の廃止について	原案可決(全会一致)
議案第 25号	交通事故に係る損害賠償の額の決定について	原案可決(全会一致)
議案第 26号	平成26年度君津市一般会計補正予算(第5号)	原案可決(全会一致)
議案第 27号	平成26年度君津市学校給食特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第 28号	平成26年度君津市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第 29号	平成26年度君津市聖地公園事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第 30号	平成26年度君津市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第 31号	平成26年度君津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第 32号	平成27年度君津市一般会計予算	原案可決(賛成多数)
議案第 33号	平成27年度君津市学校給食特別会計予算	原案可決(賛成多数)
議案第 34号	平成27年度君津市国民健康保険特別会計予算	原案可決(賛成多数)
議案第 35号	平成27年度君津市聖地公園事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第 36号	平成27年度君津市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第 37号	平成27年度君津市介護保険特別会計予算	原案可決(賛成多数)
議案第 38号	平成27年度君津市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決(賛成多数)
議案第 39号	平成27年度君津市水道事業会計予算	原案可決(全会一致)
議案第 40号	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例及び職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 41号	一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 42号	市長等及び一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 43号	副市長の選任について	同意(全会一致)
議案第 44号	教育長の任命について	同意(全会一致)
議案第 45号	教育委員会委員の任命について	同意(全会一致)
議案第 46号	固定資産評価員の選任について	同意(全会一致)
議案第 47号	教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 48号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 49号	平成26年度君津市一般会計補正予算(第6号)	原案可決(全会一致)
<b>◆委員会提出議案</b>		
発議案第 1号	君津市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)

## 創政会

小林 喜久男議員



- ・アベノミクスについて
- ・経営改革について
- ・財政運営について
- ・総合計画について
- ・消費者保護について

### プレミアム付き商品券

**Q** 地方創生に向けて、県内54市町村が、プレミアム付き商品券を発行する。本市の対応状況について伺う。

**A** 市長 君津商工会議所の協力で、プレミアム付き地域商品券を発行する。内容は、1万円で1万3000円相当の商品券を、2万5000円発行する予定で、発行総額3億2500万円に達し、市内の消費喚起効果が見込まれる。

### 財政運営

**Q** 我が市の財政状況の現状と、三年、五年後の状況について伺う。

**A** 市長 財政力指数は、以前と比べ低下しているものの、全国的には高い水準にあり、今後も同程度で推移すると見込んでいる。

### 総合計画



経営的視点での成果を期待する

また、経常収支比率は、徹底した行政改革などによる歳出削減策の実施などにより、若干の改善は見られたものの、当分の間は高い水準にあると見込んでいる。

**Q** 県が進める君津市都市計画、都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更に関連するまちづくり構想の見直しについての見解を伺う。

また、君津市都市計画マスタープラン案は、まちづくり構想等との整合性は図れているのか。

## 新政会

鈴木 良次議員



- ・行政施設の防災対策について
- ・地方創生について
- ・指定管理者制度について
- ・観光事業について

### 保育園、幼稚園の耐震化

**Q** あげぼの保育園、亀山保育園については統合とのこととなったが、他の保育園の統合計画はあるのか。

**A** 市長 統合計画については、平成27年度に建設を予定しているあげぼの保育園と亀山保育園のほか、市立保育園の施設整備等に関する報告書に基づき、久保保育園と上湯江保育園、宮下保育園と常代保育園、中保育園と小糸保育園の統合による建てかえを検討している。

### 公民館の耐震化

**Q** 老朽化した公民館の耐震化の基本方針は、また、耐震化を図るにあたり、統合も視野に入れているのか、あるいはそれぞれ耐震化を図っていくのか。耐震化スケジュール

とあわせて伺う。

**A** 教育長 開館後40年以上がたつ周南、小糸、清和、小櫃の四公民館の耐震化が必要である。公民館は、本来の役割である地域の教育機関としての機能に加え、避難所や防災の拠点としても、重要な役割を果たしていることから、早期に耐震化を図りたいと考える。

耐震化の順番等の方針については、(仮称)公民館施設耐震化計画を現在準備しているところであり、今後ファシリテイマネジメント等の観点も踏まえながら、全庁的な取り組みの中で進めていく。



緊急時の避難所にもなる公民館

## 観光事業

**Q** 施政方針に農業と観光が融合した産業振興策として、フルーツライン構想が挙げられているが、このほかにも農業と観光が融合した集客策について、検討しているのか伺う。

**A** 市長 現在取り組む君津フルーツライン構想以外にも、農地の貸借を市が仲介して行う市民農園整備推進事業や毎年恒例となっている君津市認定農業者協議会主催のきみつ枝豆収穫祭、田植えや稲刈りの稲作体験などがあり、いずれも大変好評を博している。今後は、先進地の事例なども参照し取り組んでいきたい。

(関連質問) 小倉 靖幸 議員

- ▼災害時相互応援協定について
- ▼地方創生コンシェルジュの選任について
- ▼地方版総合戦略の策定体制について
- ▼広域連携による観光施策について
- ▼郡ダム周辺の地域資源の活用について



(関連質問) 小倉 靖幸 議員

各議員の質問の大綱と主な質問・回答の概要です。詳細は会議録で確認いただけます。

きみつ未来

磯貝 清議員



- ・広域行政について
- ・市政運営上の本市の課題とその対応について
- ・平成27年度施政方針について
- ・平成27年度予算案について

併 選挙公約である四市合

**Q** 市長選挙の公約で都市間連携を図り、中核都市移行を推進するという四市合併を掲げられました。取り組み状況と今後の課題を伺う。

**A** 市長 君津地域四市合併・中核市問題研究会における調査研究の結果、各市の裁量による行政サービス水準に多くの差異があること、個別具体的な検討や住民負担のあり方について、引き続き協議することが必要である。

**Q** 首長によるトップレベルでの公式・非公式会議の設定に向けた対応について

意形成、事務担当レベルでの検討会議の設定についてはどうか。

**A** 副市長 地方創生の動きや中核市の要件の緩和を踏まえ、意見交換の場は必要と考えている。

**Q** 市長の中核市移行への考えは。

**A** 市長 今日まで四市で地域を支えてきたことから、極力四市で合併したいというのが私の考え方である。



三舟山から見る中心市街地

公共施設の管理

**Q** 公共施設の管理における課題とその解決策についての見解を伺う。

**A** 市長 公共施設の多くが今後一斉に大規模改修や建て替え等の時期を迎えるため、これら公共施設の更新費用が短期間に集中して増加し、大きな財政負担となることが懸念されている。

今後は、効率的で効果的な更新等を可能とするために公共施設マネジメント基本方針を策定し、推進していく。

市政運営の考え方

**Q** 第一次まちづくり実施計画の最終年度にあたり、ハード、ソフト両面における課題をどのように捉えているのか。

**A** 市長 定住促進に向けた各種取り組みやファシリテイマネジメントの推進、維持可能な財政の確立等に向けた取り組み等を今後の課題として捉えている。



(関連質問) 平田悦子 議員

- ▼防災・災害対策について
- ▼東京オリンピック・パラリンピック事業について
- ▼教育行政について
- ▼女性の市政参画について

政風会

池田 文男議員



- ・本市の教育行政について
- ・有害鳥獣対策について
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックについて
- ・道路整備について
- ・防災について
- ・医療について

卒業式の歌 仰げば尊し

**Q** 明治の心で歌い続けられてきた「仰げば尊し」の歌を卒業式で歌い続けたいが、教育委員会から各学校へ、選曲の指導はできるのか。

**A** 教育部長 卒業式の歌については、主役である卒業生にとって感概深い式となること、また呼びかけの挿入歌としてふさわしい歌となるよう、児童、生徒と教員で話し合い、決定している。

猿害対策の切り札 モンキードッグ導入

**Q** 里山環境の変化により、鳥獣被害も増加する状況下で、農業就業者の高齢化が進み、農家戸数の減少、耕作放棄地の増加、電気柵や防護柵などの設置、管理の方法、また不備による被害の発生も多く報告されている。近年、電気柵などの環境

**A** 市長 地域の合意形成を行った上で、安全かつ適正に実施する体制を整備することが重要となる。このため、今後、モンキードッグを安全に使用するためのガイドラインの整備や、訓練の斡旋等について、県と協議していく。



現在は多く使われている電気柵

**Q** いろいろな環境団体や猟友会、地域の方から要請等があったと思うが、今後、市はどのように取り組むのか。

**A** 経済部長 モンキードッグを活用した鳥獣被害対策については、国・県の補助金の対象となることも考えられるので、情報収集に努めていく。

**Q** 県もモンキードッグに対するガイドラインの整備等を斡旋していくということだが、今後どのように支援策を含めた対応を行うのか考えを伺う。

**A** 経済部長 県も犬の係留義務を4月1日からの規則で適用除外とし、モンキードッグが活用できるようにした。支援策も先進事例を調査研究していきたい。



(関連質問) 真板一郎 議員

- ▼教育行政のより一層の充実について
- ▼清和地区における主要道路の整備について
- ▼防災拠点の整備について
- ▼清和診療所の充実について

## 公明党

藤井 修議員



・学校規模の適正化とあり方について  
・定住人口増加対策について  
・安心して暮らせる支え合う地域社会づくりについて  
・観光資源を生かした交流の増進と活性化について  
・文化芸術が根付いた君津づくりについて

### 学校規模の適正化

**Q** 小中一貫校の導入を含む学校統廃合は教育環境改善が第一義であるが、その進め方を伺う。

**A** 教育長 今年度中に基本方針を策定し、

今後は有識者、保護者、地域住民等の外部委員を中心とした新たな検討委員会を組織し、慎重かつ迅速に取り組みたい。

### 定住人口増加対策

**Q** 県は人口増が不確かな市街化区域の設定は認可しない方針である。総合計画で掲げた目標人口九万人を実現する居住地の整備方針を伺う。

**A** 市長 地域優良賃貸住宅と優良田園住宅制度の活用及び空き家バンク制度を創設して定住促進に努める。

**Q** 庁舎内に「ふるさとハローワーク」を設

置し、若者の雇用機会を増大できないか伺う。

**A** 市長 設置に際しては一定の要件があるが、調査研究していききたい。

### 安心して暮らせる地域社会づくり

**Q** 高齢化と核家族化で日常生活に必要な物資の買い物の困難者が全体的に増加している。支援の強化対策を伺う。

**A** 市長 真心お届けサポート事業の周知と登録店舗の増加に向けて商工会議所と協議する。

**Q** 高齢者が地域で医療、介護、予防、居住及び生活支援のサービスを一体的に受けられる君津版「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みを伺う。

**A** 市長 団塊世代の後期高齢期への移行等を見据え、今後体制の充実を図っていく。

### 観光資源を活かした交流の増進

**Q** 観光企画に実績がある専門家の援助について見解を伺う。

**A** 市長 昨年、登用した観光アドバイザーから、市全般への意見も聞いていきたい。

**Q** 市民に向けた市内交流事業の創設について伺う。

**A** 市長 市民向けのパスツアー等を企画し、本市の魅力を知っていただけよう努める。



春の魅力いっぱいのお花見ウォーク

### 文化芸術進行が根付いた君津づくり

**Q** 児童生徒に一流のアーティストの芸術に触れる機会を作る取り組みについて伺う。

**A** 教育長 優れた芸術に触れる機会を創出し、豊かな心を持った「君津っ子」の育成を目指していく。

## 保坂 好一議員 (創政会)



・経営改革について  
・教育について

### ファシリティマネジメントで経営改革

**Q** 次世代の市民が安全な施設を安心して利用できるように、公共施設の基礎データとして、どの様な情報を管理し、また、それを基にどの様な区分を行い、平成27年度の経営改革にデータが反映されているのか。

**A** 市長 公共施設を一元的に管理できるように、建設費・建設時期・主要工事の履歴・経費・利用者数等のデータを取りまとめ、施設台帳をもとに現状と課題を整理分析した上で、公共施設マネジメント基本方針の策定を進めている。公共施設を質・量・財政負担の最適化の三つの視点から、最適なサービスができるよう個々の公共施設の建て替えや複合化・統廃合などの取り組みを進めていく。

### 教育委員会

**Q** 法改正により始まる総合教育会議の議題や内容はどのようになるのか。

**A** 教育長 新たに設置される総合教育会議は、市長が主宰者となり、会議における協議・調整事項は教育大綱の策定や重点施策、さらには児童、生徒に対する緊急時の対応など、市長と教育委員会が協議、調整を行っていく。

### 事務事業総点検

**Q** 本市の事務事業総点検では、かなり厳しい評価結果を出されているが、どのように反映していくのか。

**A** 企画政策部長 今回の厳しい評価結果を真摯に受けとめ、本市の実情等と調整を行い事務事業の見直しを図る。

モニター傍聴  
できます



市役所1階ロビーに設置した専用モニターで、市議会本会議の様子を生放送しています。  
※放送は本会議中のみです。

## 須永 和良議員 (諸派・新風)



・ 教育行政について  
・ 防災行政について  
・ 福祉・医療行政について

## 保護者への説明不足

**Q** 周西幼稚園を大和田小に統合するという予算要求があったか。

**A** 財政部長 要求はあった。

**Q** 議会説明も地元説明もなく、大和田小と坂田小と周西幼稚園を一緒にしようとしていた。これのどこが教育環境の改善なのか。

**A** 周西幼稚園は10月の園児募集の段階で、一年で閉園するか、または移設するか、もしくは一年後に耐震化していない施設として施設名が公表されるか、三つしか選択肢はない。

**A** にもかわらず、それを説明せずに園児を募集をした。これは手順がおかしいのではないか。

**A** 副市長 説明責任を十分果たすことが必要だと考える。

## 三浦 道雄議員 (諸派・日本共産党)



・ 市長の施政方針について

## 経営改革の影響

**Q** 市政運営の基本的考え方について述べられました。また、「経営改革」という株式会社発想では市民サービス等の後退を招くと懸念するが見解を伺う。

**A** 企画政策部長 経営改革の取り組みを進めるにあたっては、透明性を確保しつつ、市議会を始め市民の皆様のご意見を伺いながら、引き続き、質の高い市民サービスを提供できるよう努める。

## 学校給食共同調理場整備事業の凍結

**Q** 今回、建設事業が見送られたが、三つの学校給食共同調理場を一つに統合することを含めて見送るのか。

**A** 市長 国の交付金が増え、計画を延期している建設事業

## 船田 兼司議員 (政風会)



・ 平成27年度の行財政運営について  
・ 医療体制について  
・ 空き家対策について  
・ 君津地域水道事業統合・広域化について

## 坂田小学校体育館の耐震化

**Q** 12月議会でも未使用化と答弁頂いているが、保護者に説明したか伺う。

**A** 教育部長 未使用化に関する具体的な説明は行っていない。

## 学校給食共同調理場の建設凍結

**Q** 既存設備の修繕、アレルギー対策について、今後どのように進めるのか伺う。

**A** 教育部長 三調理場の設備改修は、積極的に進めたいと考えている。アレルギー対応は現時点では困難であり、毎月の献立表にアレルギーの表示等を行っている。

## 小児医療体制

**Q** 現在は木更津市の夜間急病診療所に対応しているが、老朽化等も考えて新設等の検討をされているのか伺う。

## 保健福祉部長 耐震対策、津波対策を考慮する中で、初期救急医療のセンター化や新設等も含め設置時期、設置場所、集約方法など、君津木更津医師会及び関係四等市によって検討していきたいと考えている。

**A** 救急隊が現場に到着し、現場を引き上げるまでに30分以上かかった件数及び、救急隊が受け入れ先を探すのに五件以上の病院に入電をした件数が年間どのくらいあるのか伺う。

**A** 消防長 平成26年中の救急出動件数は4千579件。現場到着から引き上げまでに30分以上要した件数は、531件。また、五件以上の病院に連絡した件数は122件、全体の2・7%である。

**A** 市長 国の交付金が増え、計画を延期している建設事業

# 委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案をそれぞれ審査しました。主な議案の審査概要は、以下のとおりです。※議案名などは、議案等の審議結果（3ページ）を参照ください。

## 総務常任委員会

審査案件（議案第3号ないし第7号、第15号、第40号ないし第42号）

### ◆議案第5号

（内容）市長直轄の政策推進室を設置し、「定住促進対策」及び「東京オリンピック・パラリンピック関連の事務」を担当すること及び広報広聴に関することを総務部の所掌とするもの。

（問）政策推進室の所掌事務について伺う。

（答）企画政策部は企画立案を行う点に対し、政策推進室は実際に政策実現に向けて働く実動部隊と考えている。（全会一致で可決すべきものと決定）

### ◆議案第41号

（内容）給料表の改正を行い平均1・5%の減額等をするもの。

（問）時間外勤務について伺う。

（答）今年度、一月に60時間を超えて業務を行った職員は58名おり、職場としては選挙管理委員会・危機管理課・課税課等であるが、時的なものではない。（全会一致で可決すべきものと決定）

## 文教民生常任委員会

審査案件（議案第1号及び第2号、第9号ないし第14号、第16号、第18号）

### ◆議案第9号

（内容）精神障害者医療費給付条例の一部を改正するもの。

（問）近隣市の所得制限の状況について伺う。

（答）木更津市・富津市においても世帯の市町村民税の所得割額の合計が23万5千円以上の世帯である。

（反対）障害者は社会的弱者であり、これまでも救済を行ってきた。他市が所得制限を行っているからという理由で所得制限を行う必要はない。（賛成多数で可決すべきものと決定）

### ◆議案第14号

（内容）指定ごみ袋によって排出される廃棄物の手数料について超過有料制から、単純従量制へと制度改正を行うもの。

（問）市民に負担を強いるのであれば人件費削減をすべきであるが、見解は。

（答）ペットボトル・プラスチック収集については民間委託を行政改革の中で検討している。

（意見）生活保護世帯等に対して減免措置を行わないことにより、被保護世帯等の負担増になる。

（意見）事前に関係団体の意見を聞き、より丁寧に市民へ説明を行うべき。

（意見）本議案は議会を無視し、市民の意見も十分聞いていないことから、君津市市民協働のまちづくり条例の基本理念に反している。

（修正案）議案内容ではなく議案提出に至る手続きに問題があると考ええる。

### ◆修正案

（内容）施行日を半年遅らせ平成28年4月1日とし、その間は、期間に応じた枚数の指定ごみ袋を配布する。

（問）議案の可決後であっても、減免特例の対象について変更が可能かどうか伺う。

（答）条例中の「市長が、特別な事情があると認められるとき」に該当すれば対象を拡大できる可能性もある。

### ◆反対討論

本条例の提出には時間をかけて市民の意見を聞くべき。市民参加の継続においても、審議会の開催のみにとどまるため市民協働のまちづくり条例の

理念に反するため、原案撤回を求める。

修正案についても、施行時期を延長しただけで、条例可決後の修正は不可能である。

### ◆賛成討論

修正案は、施行日を延期することで、執行部が市民への説明を積極的に行い、理解と協力を求めていくものと考えられることから賛成。

### ◆賛成討論

修正案は、ペットボトル等の回収に係る人件費削減が28年度には期待でき、条例施行の延期で、市民への負担も抑えられ、経費削減も同時に行えることから賛成。（賛成多数で可決すべきものと決定）

### ◆議案第18号

（内容）住民票の写しなどの交付事務を取り扱っている九郵便局の指定を取り消すもの。

（問）住民票の写し等のコンビニ交付について、見解を伺う。

（答）マイナンバー制度が開始されることに伴い、普及状況を確認しながら検討する。（全会一致で可決すべきものと決定）

## 建設経済常任委員会

審査案件（議案第8、第17、第19号ないし第25号）

### ◆議案第17号

（内容）自然休養村管理センターの指定管理者として君津市農業協同組合を指定するもの。

（問）（仮称）清和地区観光交流センターの完成後における当該施設への対応について伺う。

（答）（仮称）清和地区観光交流センターが完成後は、業務の一部を引き渡し、当該施設を廃止する予定である。（全会一致で可決すべきものと決定）

### ◆議案第25号

（内容）交通事故の相手方との和解協議が調い、損害賠償額の決定について議会の議決を求めるもの。

（問）当該事故後の保険料の変動額及び工事現場における具体的な再発防止策は。

（答）平成27年度からの保険料額は、概算で、年36万円から年72万8千円に上昇する見込みである。今後、現場作業は、複数の職員で対応し、再発防止に努める。（全会一致で可決すべきものと決定）

議会運営委員会  
議会だより編集委員会  
2月12日～13日

## 議会のレベルアップを目指して

2月12日～13日、議会改革について、また、市の広報紙と合併した議会だよりの編集について、先進市の取り組みを視察してきました。

### 視察先 岡山県玉野市・愛媛県四国中央市

**議会改革について（玉野市）**  
玉野市議会は、日本経済新聞社の議会改革度調査において全国順位を541位から90位へと大幅に引き上げていることから、その取り組み内容について視察を行いました。

玉野市議会では、平成23年4月の改選後、それまで以上に議会改革を進めようと特別委員会を設置し、議会基本条例の制定、議員定数削減、議会報告会の実施や女性議会の開催などを実施した結果、議会改革度の全国順位が大幅に上昇したとのことでした。

この中でも、議会報告会や女性議会の開催などによる市民の議会への参画機会の増加によって、議会の見える化に取り組んだことが評価につながったものと感じました。

### 議会だよりと市広報の合併について（四国中央市）

四国中央市では、市議会だよりと市の広報紙を合併していますが、執行部から議会に対しての要望によるものでした。その背景には、度重なる災害により、復旧のため財政調整基金を20億円程度取り崩すなど厳しい財政状況があったとのことでした。

意見交換の中で、本市では新聞折り込みとしている広報紙の配布について、四国中央市では広報委員による各戸配布を行っていることから、高齢者の安否確認等の役割も果たしている可能性があると、何人かの委員は興味を示していました。

### 視察を終えて

議会改革については、各種要綱の整備を行ったもの



議会だより編集委員会委員長  
三浦 章議員



議会運営委員会委員長  
鈴木 良次議員

の、今後の効果が待たれると思われる事項などもあるなど、課題もあると思いましたが。本市議会において、見習うべき点と方法を見直すべき点を踏まえ、さらなる検討が必要と感じました。

議会だよりと市の広報の合併については、経費削減や広報に合わせることで議会だよりがより多くの方に読まれるなどメリットはありと考えました。その一方で議会と執行部はそれぞれ独立した機関であるが、合併により、本来の役割を市民に誤解される恐れもあると感じました。



先進事例を真剣に調査研究

1月～3月

## 特別委員会取り組み報告

### ●学校給食共同調理場建設調査特別委員会

開催日：①1月21日②1月23日③2月3日④2月18日

- 事 件：①市内3調理場の現地調査  
②学校給食共同調理場の事業計画について  
③袖ヶ浦市立学校給食センターの行政視察  
④学校給食共同調理場の建設事業について

### ●交通体系等調査特別委員会

開催日：1月26日

事 件：デマンドタクシーの現状と課題について、本市の総合交通体系について、視察先について

### ●君津活性化対策特別委員会

開催日：2月19日

事 件：まち・ひと・しごと創生法の概要と市の取り組みについて

### ●予算審査特別委員会

開催日：3月18日～20日

事 件：平成27年度各会計歳入歳出予算（10から11頁に関連記事あり）

1月～3月

## 委員会等の開催状況

常任委員会・特別委員会以外で、市議会選出の議員が、出席した委員会等は次のとおりです。

■ 定期監査等	1/19	1/22	1/23	1/26
	1/27	1/30	2/19	2/26
			3/23	3/27
■ 君津都市広域市町村圏事務組合議会				2/2
■ 君津富津広域下水道組合議会		2/19		3/11
■ 国民健康保険運営協議会				2/16
■ 千葉県後期高齢者医療広域連合議会				2/9
■ 君津中央病院企業団議会		2/16		2/19
■ 君津広域水道企業団議会				2/10
■ 農業委員会	1/20	2/19		3/23
■ 環境審議会				2/5
■ 都市計画審議会				2/19
■ 文化のまちづくり1%支援委員会				2/28

# 予算審査特別委員会

## 将来都市像実現に向けた予算 事務事業総点検による効率化を

平成27年度一般会計予算284億円を認定  
各特別会計・水道事業会計も認定

### 予算審査特別委員会

#### 委員長

小林喜久男

#### 副委員長

小倉 靖幸

#### 委員

須永 和良

船田 兼司

保坂 好一

橋本 礼子

真板 一郎

鴨下四十八

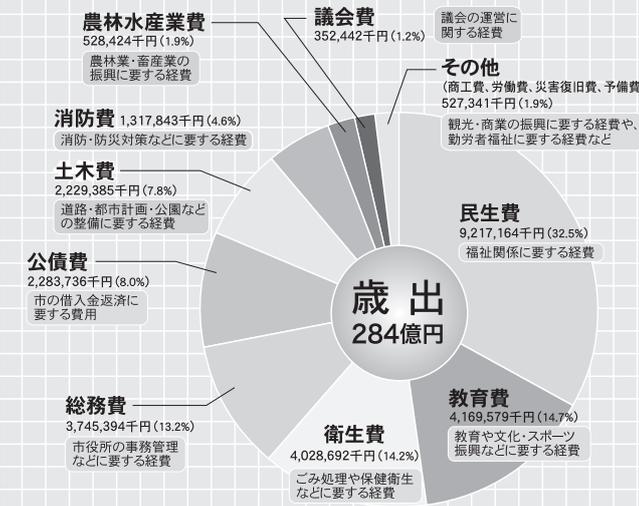
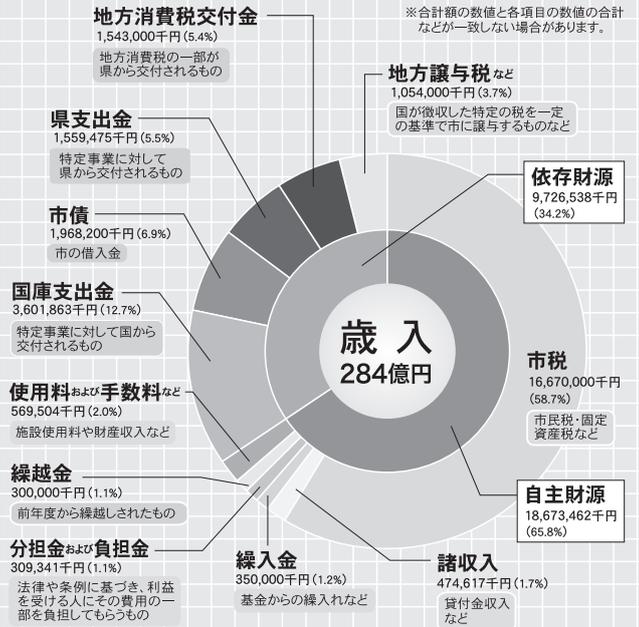
鈴木 良次

榎本 貞夫

岡部 順一

**市民目線で、幅広く審査**  
3月10日の本会議において予算審査特別委員会が設置されました。その後、3月18日、19日、20日の3日間にわたって、11名の委員が平成27年度一般会計予算をはじめ各特別会計予算並びに水道事業会計の予算審査を行いました。

**審査では、委員と執行部の議論が白熱する場面も多々ありましたが、慎重審査の結果、議案第32号ないし議案第39号のすべてについて、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定しました。**  
委員会における主な質疑等、審査の概要については、次のとおりです。



**問** 歳入予算における市民税等の徴収率の積算根拠は。  
**答** 平成26年度において、滞納額削減や徴収率向上に重点を置いて、取り組んできた結果、徴収実績が上がっていることから、平成26年度を上回る徴収率を見込み、予算を計上した。

**問** 歳入増加策の一環として行う空き家バンク制度の創設にあたり、より多くの物件を登録してもらうため、空き家内の家財道具の片付けに伴う補助金や情報登録サイトの開設を行うため。  
**問** 2020年東京オリンピック・パラリンピック関連施設整備事業の内容について伺う。  
**答** 様々な競技の中から本市に適した競技として、BMX競技を選び、そのキャンプ誘致に向け昨年、5月ごろから全日本BMX連盟と協議を重ねてきた。競



滞納者へは、タイヤロック等で厳しく対処

**問** 生活保護費の予算が減額となつた理由は。  
**答** 生活保護費については、生活保護基準額については、生活保護における住宅扶助の額を基本とする。  
**問** 生活保護費の予算が減額となつた理由は。  
**答** 生活保護費については、生活保護基準額については、生活保護における住宅扶助の額を基本とする。

**意見** 確実なキャンプ誘致を見込んだ上での事業執行を望む。  
**問** 生活困窮者自立支援事業の執行方法について伺う。  
**答** 就労支援については、ケースワーカーでは手厚い対応が困難な部分もあるため、専門的な研修を受けた方や実績のある方に委託を考えているが、今後の状況によっては、直営についても検討する。主任相談支援員、相談支援員、就労支援員の三名を配置し、相談や就労の支援を行い、家賃補助については、三カ月間を原則とするが、支給要件を満たせば二回まで更新可能とし、最長は九カ月とする。  
技場の建設地として、君津インターチェンジに近く、宿泊施設も近傍している法木地先の市有地の活用を予定している。  
競技場は、国際規格に沿って国内初の公認コースを建設し、オリンピックに先駆け2019年にはオープンさせ、キャンプ誘致はもとより、オリンピック終了後も国内大会、さらには、アジア大会等の誘致にも取り組んでいきたい。

**答** 離職等により生活困窮であった世帯が、就労開始に至ったことなどにより廃止となり、受給者が減少したことによる。

**問** 生活保護費の不正受給の状況は。

**答** 平成25年度における不正受給の件数は57件、金額は2千500万円ほどであり、悪質なケースについては告訴等、厳正な対処を考えているが、そのようなケースはなかった。

**意見** 現在、生活保護を受けている方が一人でも多く自立することができるよう、一層努力をさせたい。

**問** メディカルスポーツセンター管理運営事業の予算を減額した理由は。

**答** 財政状況が厳しい中、膨大な経費を必要とする砂風呂の維持管理の継続が非常に困難であることから、半年間の周知期間を設けた上で、平成27年9月末をもって廃止する。

**問** ふるさときみつ応援寄附金事業の内容について伺う。

**答** 返礼品に対する費用や新設するホームページへの掲載に係る管理・運営委託料、お礼状、証明書の発送等の通信費である。

本事業は、一万円の寄附に対し、四千円程度の返礼品を送付するもので、本市においては、

まず、君津の特産品による地域の活性化を目標とし、それを達成させた上で使途の拡大に取り組みたいと考えている。



君津の新鮮な農産物

**問** (仮称)清和地区観光交流センター整備事業について伺う。

**答** 施設内への郵便局設置に伴う設計変更の委託料として、850万円、建築確認申請の費用として、350万円、駐車場部分の雨水排水工事及びのり面工事に係る工事請負費として、1800万円を予算措置している。

地域住民をはじめ、市内外からの観光客に対する利便性を向上させるため、郵便局設置に向けた協議をさらに進めるとともに平成30年の竣工に向け、着実に事業を執行していく。

**問** 耐震補強工事を実施しない坂田小学校の屋内運動場について伺う。

**答** 坂田小学校の屋内運動場については、耐震補強工事を行わず、未使用化とすることで、平成27

年度中に学校施設の耐震化100%を図るものであるが、特別支援学校分校設置のため、坂田小学校と大和田小学校を統合し、空いた坂田小学校を県に貸し出すことを前提とした措置を取る。

平成28年度以降においては、統合するまでの間、坂田小学校の児童に対しては、近隣学校の屋内運動場において教育活動が行えるよう対応を考えている。

**意見** 地域の実情も含め、市全体の小中学校の統廃合計画を定めた上で、坂田小学校の屋内運動場の耐震化について再度検討されることを求める。

**答** 平成27年度に坂田小学校の屋内運動場の耐震化補強工事の実施検討行務委託費の補正予算を計上し、早期に耐震化を進めた

### 議案33号 学校給食特別会計

**問** 三調理場の施設や設備の改修・修繕の予算について伺う。

**答** ポイラーやフライヤー等の老朽化も進んでいるが、調理員の努力によって操業している状況である。今後については、大きな不具合が出ることがないよう、優先順位をつけて、改修・修繕に取り組んでいくため、補正予算での追加対応についても考えたい。

### 議案34号 国民健康保険特別会計

**問** 今後の運営について伺う。

**答** 今後、団塊の世代が、60歳代後半に差し掛かるため、医療費の動向に留意するとともに、生活習慣病の予防等についても、関係課と連携し、対策を講じていく。

### 議案35号 聖地公園事業特別会計予算

**問** 聖地の販売実績と今後の見通しについて伺う。

**答** 平成26年度の販売実績は、2月末現在で第一期整備分が10基、第二期整備分が51基であり、市内在住の方への販売は、今後、八年から十年の間、販売可能と見込んでいる。

### 議案39号 水道事業会計

**問** 純損失を計上したことについて見解は。

**答** 赤字については、法に基づき前年度からの繰越利益剰余金で補てんする。四市の市長及び水道企業団企業長の間で水道事業統合に関する覚書を締結しており、統合の際は、累積欠損金を解消しなければならない。

現在の料金体系では平成28年度以降も純損益が赤字の可能性があるため、料金改定について慎重に検討していく。

## 委員会討論

### 賛成討論

#### 議案第32号

再考の余地がある事業もあるが、事業全体の見直しを図ったことなど、漫然と前年予算を踏襲しない姿勢が表れており、全体を通して、努力が見受けられる。新たな財源確保の観点から昨年末、市議会から提言した「ふるさと納税制度」について、迅速に予算措置されたことを高く評価する。

また、第一まちづくり実施計画の最終年度として、目標の総仕上げを図るため、的確に予算が配分されていると認められる。

#### 議案第33号

老朽化した調理場においても職員の知恵と努力によって、子どもたちに安全で安心なおいしい給食を提供していることを評価する。

#### 議案第39号

近年、水需要の落ち込みによる厳しい経営環境にある中で、人件費削減などの経営努力により純利益を確保してきた取り組みが、限界に達した結果、平成27年度は、純損失を計上することとなったと考え、やむを得ないものと理解する。



森づくりで環境意識をはぐくむ

4月18日、奥米の「君津 音事協の森」において、みどりの日記念植樹祭が行われ、ミツバツツジなどの苗木が植栽されました。春の陽気の中、安藤議長(写真右から2番目)をはじめ、多くの市議会議員や三島小学校の児童が参加し、自然環境を守ろうと森づくりに汗を流しました。

全議員で視察結果を検証

4月6日、常任委員会や会派が昨年行った行政視察について、全議員が報告を受けました。今後、報告された26の先進事例について、本市でも取り組むべきかどうか詳細に検討していきます。市議会でのこの取り組みは2年目となり、昨年は新たな財源確保策として、市へ「ふるさと納税制度」の活用を提言し、平成27年度の事業化につながりました。



君津の名産カラーの花で議場に彩りを

君津市農協花卉園芸組合カラー一部会から市議会へカラーが贈呈され、一般質問初日の3月6日から議事堂へ展示されました。議場へ向かう議員や執行部職員をはじめ、一般質問を傍聴に来た多くの皆さんも足を止め、一面に飾られた君津の名産の美しさに、ひと時心を奪われていました。

市議会Q&A

Q 議案の修正

A 議会に提出された議案に対する審議(本会議)や審査(委員会)において、その一部や全部について賛成できない場合、議員はその部分を改めることができ(議案の修正)、その際、修正案を提出することになります。

条例や予算の修正案は、地方自治法により議員定数の12分の1以上

の議員の連名で、意見書や決議等への修正案は、会議規則で1人以上の賛成議員と連名で提出することになっています。ただし、委員会へは1人の議員から提出できます。

なお、3月定例会では、委員会に提出された修正案が可決し、委員会から本会議に修正案が提出されたため、こうした要件は必要とされませんでした。

市議会だより編集委員

委員長/三浦 章 副委員長/真木 好朗  
委員/小倉 靖幸、鈴木 良次、岡部 順一

〒299-1192 君津市久保2-13-1 TEL.0439-56-1476

ホームページ <http://www.city.kimitsu.lg.jp>

きみつ市議会

検索

きみつ市議会だよりは再生紙を使用しています。

6月  
定例会

6月2日(火)  
開会予定です

議会を傍聴してみませんか

3月定例会議傍聴者数

197人  
本会議(5日間)

傍聴ご希望の方は、本会議当日、市役所8階議会事務局までお申し込みください。なお、傍聴席は72席のため、先着順となります。



議会の日程や会議録をインターネットでご覧いただけます。

きみつ市議会 定例会

検索

会議録は、中央公民館でもご覧いただけます。(3月定例会の会議録5月下旬から)